

その現状と問題点

——天台宗（伝統教団）と大正大学（仏教系大学）を中心として——

塩入法道

はじめに

10年以上前になりますが、大正大学関係のある女性に伝統教団の寺院の長男との結婚話が持ち上がった時、その姑からまず「男の子を産んでもらえますね」と言われたそうです。現在一般在家でもこのような話は出ないでしょう。その女性はこれに憤慨し結局この縁談は流れてしまいました。この話には女性の人格蔑視ということの他に、住職夫婦に子ども（特に男子）が出来るかどうか、そもそも寺の跡継ぎが普通に結婚出来るかどうか（それは制度や戒律上の問題ではなく、例えば地方の農家の長男に嫁のなり手がいないということと同じ意味においてであります）、など深刻な問題をはらんでいます。晩婚少子化の傾向は当然寺院にまで及んでいます。一般寺院においては、寺が家業化し世襲が当たり前ですが、その世襲すら危うくなってきているのです。これは寺院の後継者あるいは宗教者としての資質や能力や育成方法以前の問題です。今ここでは寺院の家業化や世襲の是非について論ずるつもりはありませんが、このような現状の中で、如何に後継者を確保し宗教者として育成していくか、この点を考えてみたいと思います。

なおこのシンポジウムのテーマについて、表II-1のように70,000寺以上ある伝統仏教教団全体にわたって言及することは不可能ですので、私に関係する天台宗と大正大学の場合を中心に、現状の報告と若干の私見を述べたいと思います。日本の仏教教団はその数も多く、本テーマに関しても個々に様々な取り組みがなされていますが、基本的な部分については共通の問題意識や悩み、あるいは危機感を持っていると考えられますし、宗門系大学も同様でしょう。今回の報告は、これらのいわば縮図として見ていただければ幸いです。

表 II-1 伝統既成教団の寺院数

奈良仏教系	天台系	真言系	浄土系	禪系	日蓮系	合計
443	3,932	10,233	30,141	19,151	6,481	70,381

1994 年現在

1 天台宗の教師育成システム

天台宗の教師になる場合、一般的には、

- ①師僧のもとで得度受戒し僧籍登録する。師僧は実父のことが多いが、縁のある住職の場合もある。
- ②昔であれば小僧生活に入る。今は宗門系の教育機関である大正大学や叡山学院で学ぶことが多い。
- ③ 60 日間の^{りきょう}加行に入り、顕教・密教の修行を行なう。今はふつう「比叡山行院」に籠って行なう。
- ④この段階（①・③が必須条件）で検定に合格し宗務庁に申請すれば、教師登録される。→最下の僧階（僧侶の階級）が得られる。
- ⑤入壇灌頂・円頓授戒・広学堅義・開壇灌頂等の儀礼を受け、大学等で取得する僧階単位、諸研修、あるいは上位の検定試験等の積み重ねにより、僧階が上がっていく。
- ⑥住職・副住職となるためには、他の条件も必要であるが、教師となることが最低条件である。

という段階を踏むことになっています。一般社会の感覚でいえば、③が最も修行らしい期間でしょう。この行院の遂行者数の推移は表 II-2 の通りです。なお、延暦寺一山の諸寺院の住職になる本山教師の場合は、これとは別にさらに 3 年間の籠山が必要となります。

2 天台宗の教師・住職の現状

天台宗の現寺院数と住職数および教師数は表 II-3、4 の通りです。

兼務住職や無住職寺院を少なくするように努力がなされていますが、正住職のいない寺がかなりあります。教師の身分は、住職・副住職・前住職・法嗣の教師・未教師（法嗣）等です。「法嗣」とは上記①の得度した子弟で寺院の

表 II-2 年度別比叡山行院遂業（終了）者数

年度	遂業者数	年度	遂業者数
1975	83	1990	67
1976	87	1991	83
1977	85	1992	93
1978	78	1993	91
1979	82	1994	106
1980	55	1995	92
1981	74	1996	95
1982	66	1997	91
1983	87	1998	87
1984	83	1999	96
1985	64	2000	93
1986	62	2001	75
1987	65	2002	85
1988	73	2003	90
1989	92		

表 II-3 天台宗の現寺院数と住職数

	寺院数	住職数	兼住職数	無住職他
法人寺院	3097	2285	684	128
非法人寺院	252	101	88	63

2004 年 10 月現在

表 II-4 天台宗の現教師数

身分	住職		副住職		前住職		法嗣の教師		未教師（法嗣）		僧侶総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数	2270	101	268	16	194	24	1329	386	1794	1017	7399

教師総数は男：4061、女：572、合計：4588 である。
2004 年 10 月現在

跡継ぎ・住職予備軍ですが、何らかの縁で得度はしたが僧侶の道を歩まない者もあります。「法嗣の教師」とは④で、教師の資格は得ているが、まだ住職・副住職になっていない者を指します。

教師数の時代による推移は精確なデータがなく不明ですが、戦後寺院数は大きく変化していないので、教師数についても大きな変化はないと思われます。ただ、法嗣の教師・未教師（法嗣）に占める女性の割合が多くなっていることは注目したいと思います。これも過去の精確なデータがなくその推移をたどることが出来ませんが、印象としてもそう見えます。このことについては後に触